

令和3年1月吉日

公益財団法人 匠・育英会  
代表理事 砂田 直成 様

社会福祉法人 阪南福祉事業会  
あ ん だ ん て  
施設長 前田 なぎ子

拝啓 寒冷の候、

貴法人におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、過分なるご寄付を賜り、誠にありがとうございました。

ブルーレイレコーダーの買い替えの為に使用させていただきました。

子どもたちは、みたいテレビ番組を快適にみる事ができ、大変喜んで  
おります。

温かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

末筆ながら、貴法人のより一層のご繁栄と皆様のご健康をお祈りし、

書面にて失礼ながらお礼のご挨拶とさせていただきます。

時節柄どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

敬具

追伸:

阪南福祉事業会では、卒園生の女形役者「門戸竜二」さんと、子ども達による  
『にじいろ“夢”コンサート』を開催しております。

昨年は、コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年(8月1日開催予定)  
において練習をはじめています。ご来場いただきましたら幸いです。些少ではござ  
いますが、コンサートの記念のグッズを同封しました。ご笑納くださいませ。

# 2020年度 助成金 使途報告書

公益財団法人 匠・育英会  
代表理事 砂田 直成 殿

2021年 1月 12日

申請者 所在地 大阪府岸和田市三田町810-1  
施設名 社会福祉法人 阪南福祉事業会  
あんだんて  
施設長 前田 なぎ子  
電話番号 072-440-0300



貴財団より受領いたしました助成金の使途について下記のとおり報告します。

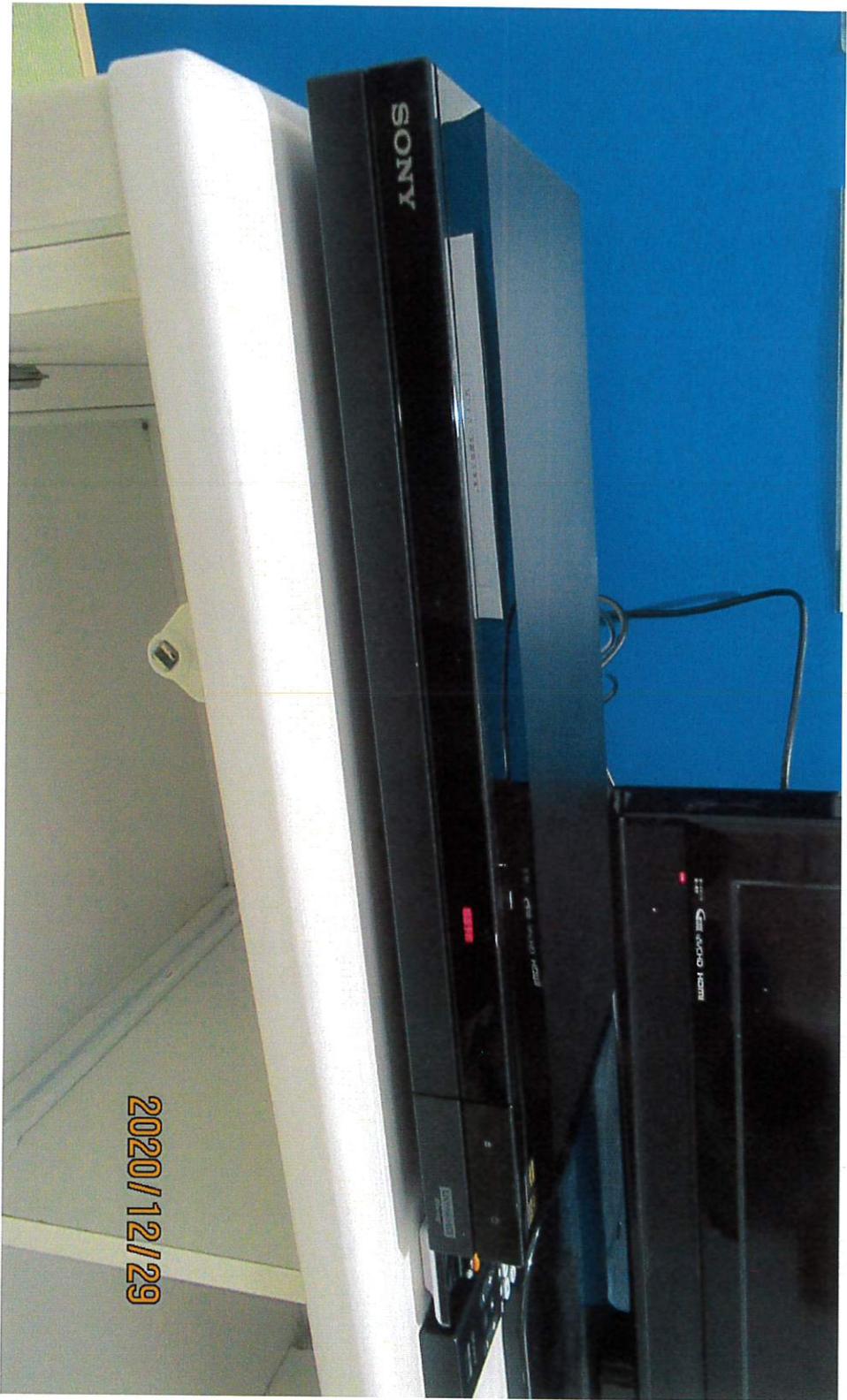
## 記

|  |           |
|--|-----------|
| 合計助成金額   | 250,000円  |
| 使途内容（具体的に記入して下さい）  |           |
| ・パナソニック ブルーレイ  | 2台購入      |
| ・ソニー ブルーレイ   | 3台購入      |
| ・HDMI  | 5点購入      |
| 前施設で使用していたブルーレイレコーダーの為、録画・再生が出来ない・リモコンの不具合等がありました。               |           |
| 助成金で新しくブルーレイレコーダーを購入させて頂き、子どもたちがみたい番組を快適にみる事が出来る様になり、大変感謝しております。 |           |
| ありがとうございました。   |           |
| 合計   | 263,750 円 |

※1 この用紙は助成金活用後、1ヶ月以内にご提出下さい。

※2 使途と証明できる物があれば ご提出下さい。

※3 報告頂いた内容は当財団ホームページで公表させて頂きます。



# 「じじい」夢「コンサート」が紹介されました

## 施設の子供たちに スポットライトを

さまざまな事情で親と暮らせない児童養護施設の子供たちに、スポットライトを浴びる喜びを知ってもらいたいと、大衆演劇のスターとして活躍する門戸竜二さん(47)が全面協力する「にじいろ」夢、コンサート」が29日夕、岸和田市の市立浪切ホールで開かれる。自身も少年時代を施設で暮らした門戸さんは「一緒に舞台に立つことで、子供たちの自信を引き出せたら」と話している。(服部素子)

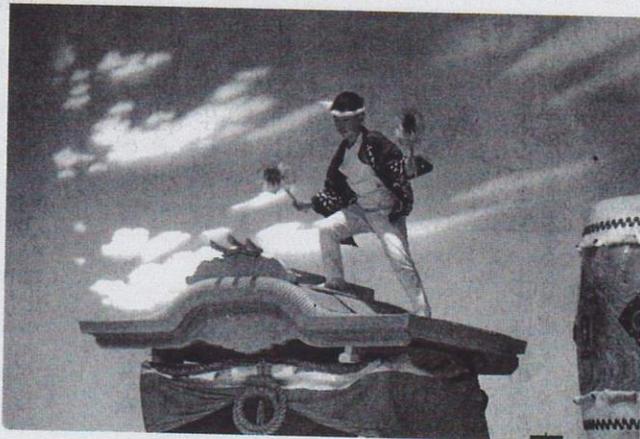


「施設の子供たちの寂しさが分かる僕だからこそできるサポートをしたい」と話す門戸竜二さん ー大阪市浪速区

主催するのは、門戸さんが少年時代を過ごした岸和田市の児童養護施設「岸和田学園」と姉妹施設の「おおぞら」(同市)。岸和田学園は昭和8年の創設で、8年前にあおぞらを開設した。現在、両園に2〜18歳の計約170人が暮らす。門戸さんは小学5年生のとき、両親が兄弟5人を置いて出て行ったため、同園に入った。次男の門戸さんは2歳だった弟の面倒をみるため、小学校もよくに通えなかったという。

### 「寂しさ分かる」大衆演劇のスターが協力 29日に岸和田でコンサート

親に捨てられたという思いはトラウマとして残った。その気持ちが変化したのは、当時の人気ドラマ「北の国から」を見たことから。「毎回、すごく感動して、自分も人の心を動かす役者になりたい」という目標ができた」と振り返る。



昨年のステージで、岸和田だんじり囃子を熱演する子供

中学卒業後、学園を出て上京。芸能活動を始めるが挫折した。8年間の会社勤めをするものの、役者になって人を感動させたいという夢と、役者として全国を旅すれば、別れた母が訪ねてきてくれるかもしれないという思いが頭をよぎり、再び挑戦し

た。日本舞踊を習った縁で、大衆演劇の劇団研修生となる。母に分かるよう、本名を芸名にした。女形としてキャリアを積み、座長も務めるなど花形役者となった。「役者として初めて舞台で拍手をいただいたとき、お客さまに認めてもらえたとうれしかった。その喜びが次の一歩を踏み出す力をくれた」と話す。だからこそ、少年時代に岸和田学園で世話になった「あおぞら」の永野良子施設長(62)に「親がいないため、運動会でも学芸会でも注目されることのない園の子供たちが輝ける場をつくり、自己肯定感を持たせたい」と相談されたとき、協力を快諾した。7回目の開催となる今年は「虹も7色。千人収容の大ホールをいっぱいにして、子供たちをキラキラ輝かせたい」(門戸さん)と、例年以上に気合が入る。出演する両園の子供たち約80人は、手品やだんじり太鼓、パトンなどの演目を猛練習中。門戸さんは「大きな相手は、子供たちがこれから生きていく力になる。1人でも多くの方に見てほしい」と話している。午後6時開演。2500円。問い合わせは「あおぞら」の永野さん(☎072・444・0100)。

児童養護施設「岸和田学園」出身の門戸竜二さんは、『役者になって全国を旅すれば、小さい頃別れた母に会えるかもしれない』との思いから役者を目指します。NHK 朝の連続テレビ小説「はっさい先生」に浦田菊丸の役名でデビューし、その後舞台、CM、歌手活動などを経て、2000年~2011年3月、大衆演劇、

劇団「龍」の座長を務め、2011年4月(有) 本田ステージプロデュースの門戸竜二として独立。あらゆるジャンルに常にチャレンジを続け、多方面から評価を得ています。

自身の芸能活動に磨きをかけることはもちろんのこと、児童養護施設の子供も達のため、物心両面での支援を続けています。